



今月の話題：「100年残そうとするなら、100年残った建築に学べ」文教施設協会の機関誌「文教施設」の内田祥哉先生へのインタビュー記事で、先生が尊敬するスウェーデンの建築家エストベリーの言葉として話されています。エストベリーはかの有名なストックホルム市庁舎の設計者です。1923年の竣工時は既に鉄筋コンクリートの時代で、煉瓦造のこの建物を時代遅れと評する人も少なくなかったとか。しかし彼は、この建物を永く保たせるためには経験の少ない新建材でなく、歴史のある煉瓦造に新しい手法を加えて設計し、残した言葉と云うことです。参考にすべき言葉と思います。（太田統士）

### □ 本部便り（金森捷三郎記）

・「2014年の活動報告と予定、2015年の活動計画、および2014年、2015年の収支見通しを12月8日（月）までにご提出頂くよう各部会長に依頼した。

### □ 建築部会（安部重孝記）

・10/24「モンゴルでの建築技術シンポジウム—その1」をシンポジウム講師により開催。松村藤田研究室  
・引き続き、11/25「モンゴルでの建築技術シンポジウム—その2」の開催予定・乞、多数のご参加。  
・10/7 鹿島建設研究所見学（担当：向野、加瀬）  
和田先生はじめ15名が参加、これで5社の技研見学は終了しました。

・10/11 モンゴルの建築現場見学でお世話になったモダン社4名来日歓迎宴会

・10/27 IPD 講座Ⅱ第5回「建築環境保全の観点を踏まえた省エネ技術の考え方」講師：栗原潤一氏、

・10/28 住宅あんしん保証受託業務：A 二子玉川集合住宅 事前確認検査実施（担当：奈良、柳川）

○次回建築部会予定：WG：11月4日14：00～15：30、

部会：11月19日（水）17：30～19：30

### □ 戸建住宅部会（阿部市郎記）

・ホームビルダー実務向上 Web セミナー：11月第1週に「断熱リフォームと改正省エネ基準」講師栗原潤一氏（ミサワ総研副所長）、「工務店の強みを生かすリフォーム・・・ベテランリフォームプランナーからのアドバイス」講師島津幸子氏（幸設計室）をリリース。サーツ会員は聴講無料ですから、ホームページから申込パスワードを取得し聴講して下さい。

・「大型木質構造建築設計者育成講座」2014 Web セミナーが11月上旬から始まります。無料講座です。サーツホームページから申込んで下さい。建築技術教育普及センターの普及事業の助成を受けた無料講座です。何時でも！何処でも！居ながらにして！がWebセ

ミナーの利点です。ふるってご参加下さい。

○11月部会予定：11月7日（金）18：00～

今月の卓話 中村 孝氏（西松建設）です。

### □ 集合住宅部会（小畑晴治記）

・中層住宅 EV の開発研究の東京都中小企業公社の助成事業への申請については、二次ヒアリングまでは通過したのですが、最終の選定にもれてしまいました。一緒に参加した両メーカー共に、やる気でおりますので、次なるパートナーを探して研究開発の継続を進めてゆきたいと考えています。

・昨年度の志木 NT の検討依頼の関連で、某団地の管理組合から「スキップフロア・アクセス」住棟のバリアフリー化の検討依頼が届いており、集合住宅部会として積極的に支援してゆく予定です。

○次回部会予定：11月4日（火）18時～

### □ マンション管理組合支援事業部（向野元昭記）

・シャルマンコーポ東村山の件につき、安部、小藤両常務理事と太田相談役にご出席いただき、今後の対応につき検討した。

○次回部会予定：11月は休会

### □ LLB 技術研究会（向野元昭記）

・次回の設備技術交流マルシェを、12月4日（木）15：00時より飯田橋の第5田中ビル9階の日本建築設備診断機構（JAFIA）会議室にて開催します。

### □ 建築技術誌 11月号サーツ欄の掲載記事・執筆者

・柳川 裕「ライフサイクルに対応した中高層集合住宅の一提案」

・岡本直・丸山和郎「東京都マンション耐震セミナー報告」

□ 顔写真更新のお願い：当初のファイル以降、10余年を経て、経年による風貌の変化もあり、更新が必要と思われる。デジタルデータを大里さん

（[ohsato@psats.or.jp](mailto:ohsato@psats.or.jp)）までお送りください。

□ 余滴：超モダン小さき落ち葉の意匠かな 捷三郎